発行日: 2024年4月3日

エコアクション21 環境経営レポート

2023年度版 (1~12月)

〈第19版〉





サステン株 式 会 社 森 町 事 業 所

目 次

表紙
目次 ······· 2
会社紹介 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
I. 組織の概要 ······ 5·6
Ⅱ. 事業活動の概要 ・・・・・・・・・・・ 7·8
Ⅲ. 環境経営方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
Ⅳ. 環境経営目標 ・・・・・・・・・・・・ 10・11
V. 2023年活動実績 ······ 12~15
VI. 2024年活動目標 ············· 16·17
Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の確認 ····· 18
畑. 代表者による全体評価と反省 ・・・・・・・ 19・20

会 社 紹 介

私たちサステン株式会社は、静岡県周智郡森町の本社・森町事業所、袋井市の袋井事業所と袋井インター営業所、熊本県八代市の八代事業所、の4つの拠点から成り立っています。 社員が気軽に利用できる施設として、自然の恵みを肌で感じることが出来るログハウス 【ELDORADO in森】を保有しています。

~グループ企業~

1978年にオートバイ部品組立工場として独立したサステン工業株式会社があります。

本社·森町事業所

静岡県周智郡森町森1408

•総務系部門

静岡県周智郡森町森1418-1

・木製パレットを中心に、包装資材・物流パレットの取り扱い

袋井事業所

静岡県袋井市新池700(ヤマハ発動機株式会社内) ・ヤマハ発動機製船外機の梱包、パーツ部品の包装

袋井インター営業所

静岡県袋井市川井1338-1 ・ヤマハ発動機製船外機パーツ部品の包装

八代事業所

熊本県八代市新港町4-8(ヤマハ熊本プロダクツ株式会社内)
・ヤマハ発動機製船外機の梱包、パーツ部品の包装





福利厚生施設 ELDORADO in 森 静岡県掛川市炭焼字横道284







八代事業所

熊本県八代市

サステン株式会社のあゆみ

1913年(大正2年) 友田木材店として静岡県周智郡森町吉川に製材工場を創立し、主に建築材の生産を開始する 戦時下において設備資材の供出命令により一時工場閉鎖 1944年(昭和19年) 1947年(昭和22年) 新たに社名を天原木材株式会社と改め生産を再開する 1963年(昭和38年) 生産規模および流通の拡大に伴い当地方において、いちはやく現在地に製材工場を建設すると共 に、社名をサステン木材株式会社と改め、関東地方を主力に広く一般建築材の供給に努める 1970年(昭和45年) 新規に梱包材およびパレットなどの物流資材分野に進出し、工場内に組立ラインを設置し、原 木から最終製品までの一環体制を確立する 1971年(昭和46年) 主に製品の規格化および品質の適正化に関し、農林水産省よりJSA認定工場として指定を 受ける 1972年(昭和47年) 三信工業株式会社(現ヤマハ発動機株式会社)からヤマハ船外機が初めてアメリカ市場に輸出さ れるのを契機にサステン梱包株式会社を創立し包装業界に進出 1979年(昭和54年) ヤマハ発動機株式会社関連商品の専門店(YSP袋井)として、静岡県袋井市に株式会社エルド ラードコーポレーションを設立し、オートバイの販売を開始 1990年(平成2年) 業界の将来を展望し、経営強化を図るべくサステン木材株式会社とサステン梱包株式 会社を合併、社名をサステン株式会社とし本社事業所、浜松事業所を開設する 2000年(平成12年) ヤマハ熊本プロダクツ株式会社の船外機生産開始に伴い、八代事業所を開設し梱包作業を 請負う 2006年(平成18年) エコアクション21認証取得【サステン株式会社 本社事業所】 2008年(平成20年) ヤマハマリン株式会社(現ヤマハ発動機株式会社)の船外機組立工程の袋井工場移管に伴い、 袋井事業所を開設する 2011年(平成23年) 組織強化を図るべく、浜松事業所を閉鎖し袋井事業所に吸収する 2013年(平成25年) サステン株式会社 創立100年を迎える サステン株式会社を存続会社とし株式会社エルドラードコーポレーションを吸収合併 サステン株式会社モーターサイクル事業部(YSP袋井)となる 2015年(平成27年) 袋井インター営業所 開設 2017年(平成29年) サステン株式会社モーターサイクル事業部(YSP袋井)を、有限会社エルドラード浜松へ譲渡 2019年(令和元年) 本計事業所を新築移転 2020年(令和2年) 本計事業所を森町事業所に改称

仕事の仲间の绊と 地域社会に育てられた100年企業。 绊と感謝を忘れず誠実に 社会の要望の変化に対応し 貢献していきます。



代表取纬役社長 友田 裕人

I.組織の概要

事業概要

◆ 事業所名 :サステン株式会社 森町事業所

◆ 代表者名 :代表取締役 友田裕人

◆ 環境管理経営者 :代表取締役 友田裕人

◆ 所在地 : 〒437-0215

静岡県周智郡森町森1418-1

▶ 連絡先 :TEL 0538(85)3388

FAX 0538(85)3389

◆ ホームページ :https://www.sasten.co.jp





事業内容及び事業規模(2023年1月~12月)

◆ 認証・登録範囲 :梱包材(木材・ダンボール)の加工・組立

◆ 資本金 :2,600万円

◆ 年間売上高 :2,359百万(うち森町事業所375百万)

▶ 社員数 :80名

◆ 敷地面積 :1,140.0㎡

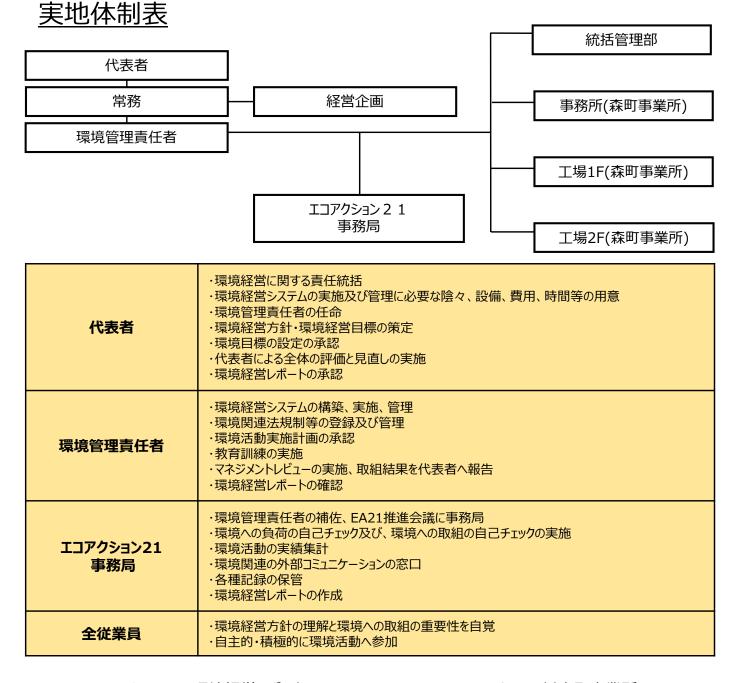
建設床面積 :974.8㎡

エコアクション21への取り組みの歴史

2005年	9月	エコアクション21取得活動開始
	12月	環境方針 制定
2006年	4月	マニュアル制定
	4月	第1回改定
	6月	第2回改定
	11月	エコアクション21 認証取得
		【認証・取得番号 0001145】
2009年	8月	低公害車【ダイハツ・ミライース】
		を導入し、保有台数を見直した
2009年	9月	バッテリー式フォークリフト導入
2011年	9月	PCB廃棄物のうち、コンデンサーを処理・搬出
2012年	10月	環境方針 改定
2016年	6月	PCB廃棄物のうち、トランスを処理・搬出
2018年	7月	環境方針、マニュアル改定
2019年	5月	新工場稼働に伴い環境負荷低減機器導入
		【チラー(水循環装置)、LED】
2021年	11月	本社1F通路、社長室、事業推進室の電灯をLEDに更新
2023年	3月	森町事業所太陽光発電導入

Ⅱ.実施体制

- 1)代表者は、環境経営責任者及び環境管理責任者を指名し、 エコアクション21の運用における責任と権限を与え、所 属、役割等に係りなく保証する。
- 2)環境経営責任者は、エコアクション21の実施及び管理に 必要不可欠な資源を用意する。資源には、人的資源及び専 門的な技能・技術並びに資金を含む。
- 3)環境推進委員会は、森町事業所及び統括管理室、業務推進室 で構成し、エコアクション21活動全般について検討する。

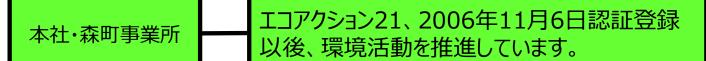


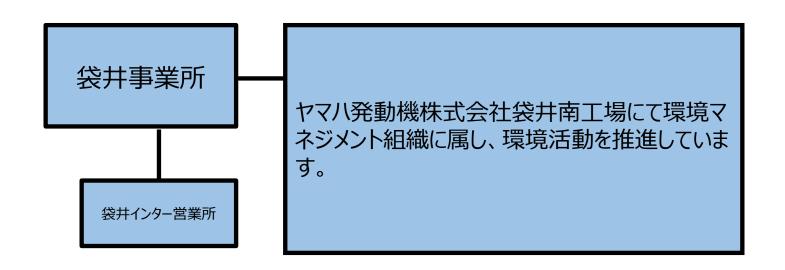
各事業所の環境活動

袋井事業所は、ヤマハ発動機株式会社殿の社内請負会社として事業を 展開しています。

環境活動においては、ヤマハ発動機株式会社殿のメンバーの一員として活動を共にしています。

熊本県八代市にある八代事業所につきましても、ヤマハ熊本プロダクツ株 式会社殿の社内請負会社として事業を展開し、環境活動組織に属し共 に活動を推進しています。





ヤマハ熊本プロダクツ株式会社に、生産3課環 八代事業所 境環境マネジメント組織に属し、環境活動を推 進しています。

Ⅲ.環境経営方針

環境経営方針

地球環境問題を人類共通の重要課題と認識し企業活動の全ての分野で環境 負荷の低減を図り持続可能な社会へ貢献します。

環境経営目標

カーボンニュートラルの実現はヤマハ発動機様と同じ2035年を目標とし計画を立案、率先実行達成することで企業の存続と企業価値を高めます。

行動 指針

わたしたちは常に環境目標を定め、次に掲げる環境負荷低減活動に取り組み 『より良い人と自然との調和』を実現するための環境経営をすすめていく

- 1 『二酸化炭素排出削減』に努め、地球温暖化防止を推進します。
- 1 『産業廃棄物削減』に努め、省資源リサイクル化を推進します。
- 1 『水、電力、油の削減』に努め、省エネルギー化を推進します。
- 1 『製品及びサービスの環境配慮とグリーン購買』に努めます。
- 1 『環境関連法令の遵守』に努めコンプライアンスを徹底します。
- 1 『化学物質の適正な管理』に努めます。

2018年7月1日 全面改定 2023年4月1日 一部改訂 サステン株 式 会 社

代表取纬役社長 友田 裕人

Ⅳ. 環境経営目標

2023年 目標と活動計画

活動目標

2023年 \sim 2025年の目標値は原単位で2021 \sim 2022年の実績平均値を維持することに努力/活動する事としています。

取組項目	1	単位	2021~2022年 実績平均値= 2023~25年目標値	2023年目標値				
CO2排出量		kg-CO2	47,625	47,625				
	 購入電力 	kwh	113,824	113,824				
		Kwh/売上高 (百万円)	313	313				
СО2 ј / // Ш ±		kg-CO2	4,188	4,188				
	 化石燃料 	L	1,805	1,805				
		L/売上高 (百万円)	4.95	4.95				
	一般廃棄物	kg	47.4	47.4				
		kg/売上高 (百万円)	0.13	0.13				
廃棄物排出量 	産業廃棄物	kg	703	703				
		kg/売上高 (百万円)	1.93	1.98				
総排水量	総排水量	m³	177	177				
心孙小里	(本) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	㎡/売上高 (百万円)	0.48	0.48				
グリーン購入		グリーン購入適合商品検討 ・事務用品のグリーン化推進 ・木材の間伐材使用の推進						
化学物質管理		使用化学物質の内容を把握 ・SDSを保管 ・PRTR法対象物質の把握						
製品サービス		リサイクルしやすい ・開発と可能性の						

2023年 目標と活動計画

活動計画

★二酸化炭素排出量削減

購入電力の削減…休み時間の消灯

コンプレッサー昼休みの停止 パソコン電源のこまめOFF

エアコン設定厳守

化石燃料の削減…アイドリングストップ

給油時の空気圧チェック

降車時エンジン停止の徹底

車両整備の徹底



★廃棄物排出量の削減

一般廃棄物の削減…裏紙使用の徹底

紙の資料の削減

印刷ミスの削減

廃棄物分別の徹底

産業廃棄物の削減…リサイクル率の検証と向上

分別廃棄の徹底

原材料の梱包仕様改善を提案



★総排水量の削減

節水



★グリーン購入

事務用品のグリーン化推進 / 木材の間伐材使用の推進



★環境への負荷の自己チェック

採取データの精度アップ / 担当割当による計量・測定



★法規制に対する対処

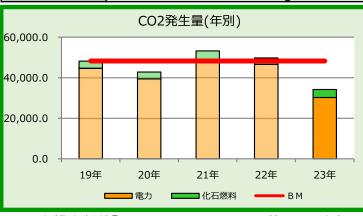
廃棄物管理表届出 / 処理業者のチェック / 騒音、振動チェック

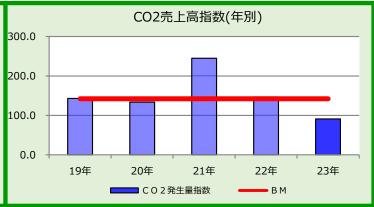


VI. 2023年活動結果

各項目の削減結果と判定

	取組項目	単位	2023年 目標	2023年 実績	結果 (増減)	判定
		kg-CO2	47,625	30,272	-17,353	0
	購入電力	kwh	113,824	67,422	-46,402	0
CO2排出量		Kwh/売上高 (百万円)	313	180	-133	0
CO2辨山里		kg-CO2	4,188	3,922	-266	0
	化石燃料	L	1,805	1,689	-116	\circ
		L/売上高 (百万円)	4.95	4.50	-0.45	0
事務所廃棄物	ᅃᅝᄼᄼ	kg	47.4	65.2	+17.8	×
排出量		kg/売上高 (百万円)	0.13	0.17	+0.04	×
在欧州山县	在	kg	703	516 (うち再資源化量345kg)	-187	0
産廃排出量	産業廃棄物排出量	kg/売上高 (百万円)	1.93	1.38	-0.55	\circ
WHI J. E		m³	177	144	-33	\circ
総排水量	総排水量	㎡/売上高 (百万円)	0.48	0.38	-0.10	\circ
グリーン購入	グリーン購入適合品商品検討 ・事務用品のグリーン化推進 ・木材の間伐材使用の推進		現状維持	活動維持		0
化学物質管理	SDSの保管 PRTR法対象物質の把握		現状維持	活動維持		\circ
製品サービス	リサイクルしやすい製品の開発 の可能性検討		現状維持	活動維持		0





[※] 電力排出係数『0.449Kg-CO2/kwh』を使用 : 中部電力ミライズ㈱(2023年1月23日公表)を使用しています。

[※]化石燃料(ガソリン)『0.0671Kg-CO2/MJ x 34.6MJ/L=2.322kg-CO2/L』を使用しています。

2023年の活動結果内容

各項目の内容《原単位上での評価となります》

購入電力削減

購入電力は2022年同様に船外機の需要が高く、生産負荷が高水準でしたが、太陽光パネルの効果により購入量がBMに対して半分で収まりました。売上高は過去最高の2022年と同水準で原単位は目標達成となりました。

化石燃料削減

ガソリン使用者は軽自動車2台、普通自動車1台の保有です。 原単位上対BM10%削減できました。

廃棄物排出量削減

産業廃棄物は、スチールの生産減少及び在庫調整により総量は大きく減少した結果、原単位上対BM30%削減できました。

水使用量削減

水は散水等減により使用量が大幅に減ったことにより対BM比19%削減しました。

グリーン購入

パレットの主原料である木材の購入は、間伐材の割合が95%以上であり、来期以降においてもお客様へ間伐 材使用製品の推奨に努め活動をしていきます。

化学物質の管理

今年度、PRTR法にて管理される薬品類は、社内での使用はありませんでした。

生物多様性への対応

幅広いテーマの中で、当社の事業に関係したインプット・アウトプット、社会貢献活動の中で 生物多様性に悪影響を与えている物/活動は特にありませんでした。

製品サービスについて

リサイクルしやすい製品の開発設計を常に意識、検討中ですが、製品耐久度とのバランス、また、製品が顧客様の使用汎用性が高く、耐荷重性等の使用設定が難しくなっています。

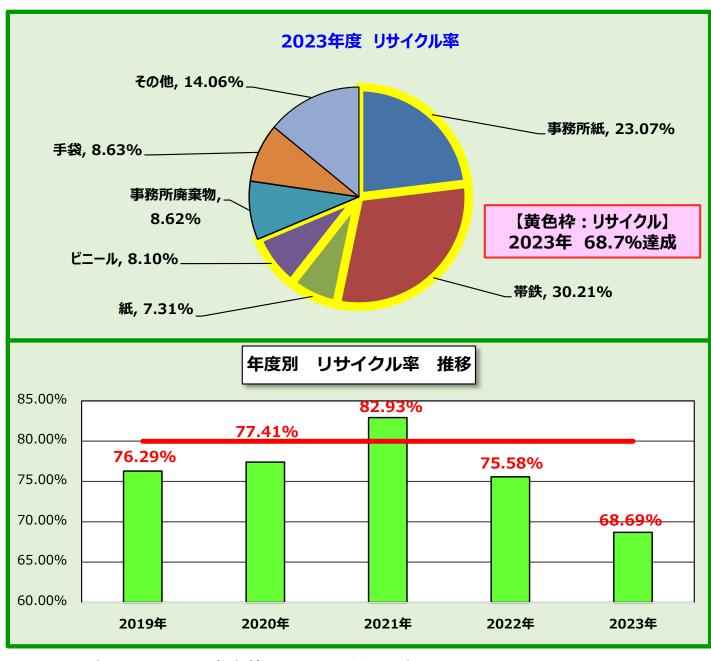
※ BMの2021~2022年の実績平均数値は、生産量が一定以上に確保され条件的に良好な環境下での達成値です。

<u>過去3年間の環境目標及び実績</u> (2021年~2023年)

取組項目	3	単位	目標/実績	2021年	2022年	2023年
	購入電力	la_CO2	目標	44,668.0	44,668.0	47,625.0
CO24HU1B	押八电 刀	kg-CO2	実績	48,702.5	46,547.4	30,272.0
CO2排出量	ノレフールが出い	la CO2	 目標 	3,533.9	3,533.9	4,187.0
	化石燃料	kg-CO2	実績	4,464.4	3,203.0	3,922.0
		l.a	目標	38.6	38.6	47.4
皮劳狮州山县	一般廃棄物	kg	実績	44.2	50.5	65.2
廃棄物排出量	产业成产师	l.a	目標	525.3	525.3	703.0
	産業廃棄物	kg	実績	726.6 (うち再資源化量576)	679.3 (うち再資源化量513)	516.0 (うち再資源化量345)
	//\delta =	3	目標	219.9	219.9	177.0
総排水量	総排水量	m	実績	174.0	180.0	144.0
グリーン購入	適合品採用	グリーン購入適合 ・事務用品のグリ ・木材の間伐材・	リーン化推進	活動維持	活動維持	活動維持
化学物質管理	購入化学品	使用化学物質の内容を把握 ・SDSを保管 ・PRTR法対象物質の把握		活動維持	活動維持	活動維持
製品・サービス		リサイクルしやすい ・開発と可能性の		活動維持	活動維持	活動維持

^{※2023}年購入電力kg-CO2は排出計数を0.449へ変更して表示

【参考記載】2023年廃棄物累計リサイクル率



- ※リサイクル率につきましては、参考値として80%以上を目標としています。
- ※分類の『その他』は工場内の掃除で溜る砂、砂利、枯葉等の重量も含まれています。

当社はエコアクション21の一環として、購入原料の木材は 95%が間伐材(北海道産)を使用しております。

※間伐材とは

森林の成長過程で密集化する立木を間引く過程で発生する木材です。間伐は森林に対して、本数を調整するために行われ、森林の育成を保つための重要な作業です。

現在、日本の森林は手入れが行き届かず充分な機能を果たせていません。そこで適当な間隔で木を伐採することにより、

林内には適度な光が入り活力ある健全な木が成長します。

間伐を怠ると、森林の健全性が損なわれ、機能が発揮されません。



WI. 2024年活動目標

活動目標

中期3カ年計画(2023年~2025年)の目標値は原単位で2021~2022年の実績値の平均値を維持することに努力/活動する事としています。

取組項目		単位	2024年目標値			
		kg-CO2	47,625			
	購入電力	kwh	113,824			
CO2排出量		Kwh/売上高(百 万円)	313			
		kg-CO2	4,187.6			
	化石燃料	L	1,805			
		L/売上高 (百万円)	4.95			
		kg	47.4			
	一般廃棄物	kg/売上高 (百万円)	0.13			
廃棄物排出量	産業廃棄物	kg	703			
	<u> </u>	kg/売上高 (百万円)	1.93			
፠\ ₩₩₽₽₽	総排水量	m³	177			
総排水量	(1)	㎡/売上高 (百万円)	0.48			
グリーン購入		グリーン購入適合商品 ・事務用品のグリーンイ ・木材の間伐材使用の	比推進			
化学物質管理		使用化学物質の内容を把握 ・SDSを保管 ・PRTR法対象物質の把握				
製品サービス		リサイクルしやすい製品 ・開発と可能性の検討				

2024年 目標と活動計画

中期3カ年計画(2023年~2025年)の目標値は原単位で2021~2022年の実績平均値を維持することに努力/活動する事としています。

する事とし	事としています。 													
項目	具体的内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	評価
_	購入電力の削減													
酸	休み時間の消灯													
化	コンプレッサー昼休みの停止													
炭	パソコン電源のこまめのOFF													
素	エアコン設定厳守													
排	化石燃料の削減													
出	アイドリングストップ													
星	給仕の空気圧チェック													
削	降車時エンジン停止の徹底													
減	車両整備の徹底													
	一般廃棄物の削減													
廃	裏紙使用の徹底													
棄	紙の資料の削減													
物	印刷ミスの削減													
排	廃棄物分別の徹底													
出	産業廃棄物の削減													
量	(リサイクルによる削減)													
削	リサイクル率の検証と向上													
減	分別廃棄の徹底													
	現在料の梱包仕様改善を提案													
グ 	環境負荷対策商品の利用													
リ 購 入	事務用品のグリーン化推進													
ン	木材の間伐材使用の推進													
	環境への負荷の自己チェック	•	•		•									
他	採取データの精度アップ													
	担当割当による計量・測定													
	法規制に対する対処													
法	PCB保管届出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
順	廃棄物管理表届出													
守	処理業者のチェック													
	騒音、振動チェック													
環境推進	委員会開催													

※PCBにつきましては、2016年6月に処分業者が引取り、最終処分済みとなっています。

WI. 環境関連法規への違反、 訴訟等の有無

当社に適用される下記環境関連法規に関して、2023年1月から12月末日までに、近隣地域から苦情1件ありましたが即日対応し解決済み。その他の官公庁・顧客・従業員からの違反や訴訟等に対する問題の指摘・苦情はありませんでした。

環境関連法規取りまとめ/遵守評価記録

承 認 印	作成日	2023年1月13日
级	評価日	2024年1月22日
4	評価者	小川 裕貴

	該当する設備・項目	当社の遵守・管理項目	届出	資格	書類	関係資料	遵守評価
• 廃水の基準の遵守		廃油等を放流しない					油類の浮遊
(地下水規制対象地域外)							流出無〇
・特定施設の届出	空気圧縮機7.5Kw 1台	規制基準の遵守	0		0	設備届出書	2019年11月20日
• 昼間 55dB ,夜間50dB 以下	(静岡県条例3.75Kw)						申請済 〇
• 特定施設の届出	空気圧縮機7.5Kw 1台	規制基準の遵守	0		0	設備届出書	2019年11月20日
• 昼間 65dB ,夜間55dB 以下	(静岡県条例3.75Kw)						申請済
・事業活動に伴って生じた廃棄物は	廃プラ・金属クズ・紙類	マニュフェスト交付⇒管理	0		0	マニュフェスト	0
自らの責任で適正に処理する。	木材クズ・他	B2,D,E票の5年間保管					
		毎年6月末迄に前年度分の数量	0		0	届出書保管	
		を知事(保険所)に届出					
		(産業廃棄物管理票交付等状況執	诰書…軒	浩書)			
• 静岡県廃棄物適正な処理に関する条例		処理委託業者の処理現場チェック			0	報告書	
(第8条~第11条)		環境管理責任者の設置					
• 保管場所を特定し施錠保管	・トランス 1台	毎年6月末迄に前年度中の	0	0	0	届出書保管	2016年6月15日
	(塩化処理…届出書)	保管・処理状況を届出					処分済み
・該当化学物質の使用、保管規制	・該当する薬品不使用	使用化学品のSDSを管理			0	SDS	0
・TV、エアコン、冷蔵庫の	TV,エアコン,冷蔵庫等	廃棄時に法の遵守					0
法にそった処理		(正規業者にて処理)					
・廃車時の法にそった処理	軽自動車、ワゴン車	廃棄時に法の遵守					0
		(正規業者にて処理)					
・ 火災報知機の設置	• 火災報知機	点検の実施	0		0		0
・可搬ポンプの設置	• 火災報知機						
• 特定調達品目を出来る限り選択	紙類・文具類・機器類	• 新規購入時には常に検討					0
	照明•作業服•手袋						
・3ヶ月に1回以上の点検の実施	・コンプレッサー付帯設備の	・ 点検の実施			0	報告書	0
	エアドライヤー設備						
	• 空調機						
	・チラー(2020年10月7追加	0)					
	・特定施設の届出 ・昼間 55dB,夜間50dB以下 ・特定施設の届出 ・昼間 65dB,夜間55dB以下 ・事業活動に伴って生じた廃棄物は自らの責任で適正に処理する。 ・静岡県廃棄物適正な処理に関する条例(第8条〜第11条) ・保管場所を特定し施錠保管 ・該当化学物質の使用、保管規制 ・TV、エアコン、冷蔵庫の法にそった処理 ・廃車時の法にそった処理 ・P・廃車時の法にそった処理 ・ 火災報知機の設置 ・ 可搬ボンプの設置 ・特定調達品目を出来る限り選択	#P 学院車時の法にそった処理 ・発車時の法にそった処理 ・光災報知機 ・火災報知機 ・火災報知機 ・ソ災報知機 ・カ機ポンプの設置 ・火災報知機 ・カ機ポンプの設置 ・カ機・・・カンプレッサー付帯設備のエアドライヤー設備・空調機	### 特定施設の届出 空気圧縮機7.5Kw 1台 「静岡県条例3.75Kw) 特定施設の届出 空気圧縮機7.5Kw 1台 「静岡県条例3.75Kw) 東業活動に伴って生じた廃棄物は 自らの責任で適正に処理する。 お材クズ・他 おりました。 「神田ののでは、保険所に届出 「大力ンス 1台 (塩化処理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	特定施設の届出 空気圧縮機7.5Kw 1台 規制基準の遵守 ○ 日本	特定施設の届出	・特定施設の届出 ・特定施設の届出 ・特定施設の届出 ・特定施設の届出 ・登気圧縮機7.5Kw 1台 ・関間 55dB 表閲50dB 以下 ・特定施設の届出 ・登気圧縮機7.5Kw 1台 ・関制 65dB 表閲50dB 以下 ・登気圧縮機7.5Kw 1台 ・関制 65dB 表閲55dB 以下 ・ 中国 2 を気圧縮機7.5Kw 1台 ・ 自らの責任で適正に処理する。 ・ 本材クズ・他 ・ 日本 2 を見上に乗りの数量 ・ 大材クズ・他 ・ 日本 2 を見上に乗りの数量 ・ 日本 2 を見まに前年度分の数量 ・ 日本 2 を見事に対しの数量 ・ 日本 2 を見事に対しの数量 ・ ・ トランス 1台 ・ (産業廃棄物管理集び付等状況報告書・報告書) ・ 設当化学物質の使用、保管規制 ・ ・ 該当する薬品不使用 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	### 特定施設の届出 空気圧縮機7.5Kw 1台 規制基準の遵守 ○ ○ 設備属出書 ② ② 登気圧縮機7.5Kw 1台 規制基準の遵守 ○ ○ ○ 設備属出書 ② ○ ○ 設備属品出書 ② ○ ○ 以機属出書 ② ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

価. 代表者による全体評価と反省

マネジメントレビュー実施日

2024年3月21日(木)

人

社 長

本社事業所 '24.03.21 坂本

環境管理責任者

事務局

代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

事務局 評価

代表者コメント (代表者への報告以後記入)

I 環境目標(環境負荷低減目標)達成状況のレビュー結果について

事務局

購入電力は3月中旬から太陽光パネルを設置しました。昨年同様船外機の需要が高く、生産負荷が高水準でしたが太陽光パネルの効果により消費量が目標に対して半分で収まりました。売上高も過去最高の2022年と同水準でしたが一般廃棄物以外は全て原単位上目標達成となりました。化石燃料は今期よりプロボックスを追加してあります。

新中期3ヵ年計画のBMは過去2年間の実績を基に作成しています。

Ⅱ 環境活動計画(取組項目)の実施状況のレビュー結果について

事務局

今期の環境推進委員会は年4回の開催計画でしたがすべて開催することができました。開催にあたりカーボンニュートラルを社員一同共有化しました。

来期も年4回の開催日をスケジュール化してあります。

脱炭素、カーボンニュートラルという時代的な背景を踏まえ、今後 も活動していきたいと思います。

代表者

昨年同様高い売上高でも原単位で一般廃棄物以外目標を達成し評価できます。一般廃棄物も統括管理の職場2S改善のによるもので理由が理解できます。 また太陽光パネルの設置により中期計画通りにCO2の削減ができたことも評価できます。

代表者

昨年環境推進委員会を会社の年間スケジュールに計画を事前に落とし込み確実に4回実施すること。また取組自己チェックシートを3年に一度の見直し指示をコメントしました。その指示通りPDCAがまわり全て実施できたことは評価できます。またカーボンニュートラルについての共有化は今後も定期的に開催してください。

Ⅲ 法規制遵守状況のレビュー結果について

事務局

2023年1月〜12月の監査を実施します。 官公庁及び近隣からの苦情はありませんでした。 特定管理化学物質に関しては、現在ありません。 代表者

代表者

現在、対象物質はありませんが取扱商品や設備などの 生産変化がある場合は、法規制のチェックを実施し維持管理して下さい。また近隣からの苦情が入った場合 は内容把握から対応まで敏速に行ってください。

Ⅳ 環境システムのレビュー結果について

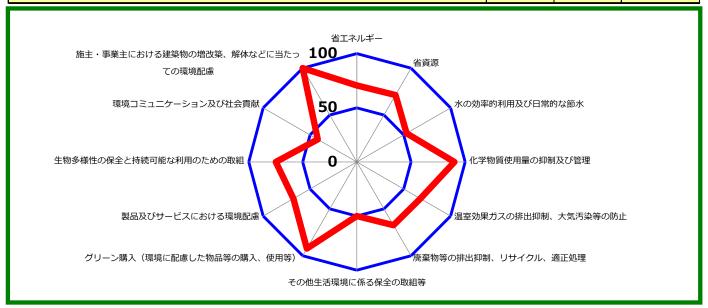
事務局

チェック件数(合格件数) 30 件 / 30 件 問題は無いと判断します。 確率(合格80%以上) 100% システムの有効性を認めます。改善の必要性は、生じていません。その他:太陽光の設置が完了し皆さんの地道な活動が重要になります。計画している電子化による脱ペーパーや改善で作成する棚の素材そのものにもこだわる活動の推進実行に期待しています。合言葉:Sasten for the sustainable earth!

		少ま老に トスカケ度 A のドニ
		代表者による次年度への指示
1 環境ロ価について		2021~2022年の平均をBMとし同等レベルの維持継続の3ヶ年計画とする。
┃Ⅰ 環境目標について		来期は、3ヶ年計画の2年目。BMに対し△0%以上を目標値とする。
Ⅱ 環境活動計画につい	て	生産量の変化(増減)があってもしっかりと活動できるように計画してください。
Ⅲ 法規制遵守について		生産に変化があった場合は注意を怠らずチェックし維持管理してください。
IV 環境システムについて		現状の継続。有効性を認めます。
V Z T (th		環境経営方針の持続可能なものづくりの意識付けができる活動を計画実行すること。
Vその他		次期中期にカーボンニュートラル活動との関連準備をしておくこと。
	人	生産状況に合わせ人員を検討する。
資源について 物		生産に変化があった場合は検討する。
	金	費用対効果を基準に判断する。

環境への取組の自己チェック2023年 評価

施策	チェック	満点の	施策実施
	結果の点数	場合の点数	度合(%)
1. 事業活動へのインプットに関する項目			
1) 省エネルギー	173	208	83
2) 省資源	52	72	72
3)水の効率的利用及び日常的な節水	31	42	74
4) 化学物質使用量の抑制及び管理	22	24	92
小 計	278	346	80
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目			
1)温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止	16	20	80
2) 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理	102	126	81
4) その他生活環境に係る保全の取組等	10	10	100
小 計	128	156	82
3. 製品及びサービスに関する項目			
1) グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入、使用等)	31	34	91
2) 製品及びサービスにおける環境配慮	67	90	74
小 計	98	124	79
4. その他			
1)生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組	18	24	75
2) 環境コミュニケーション及び社会貢献	14	32	44
3) 施主・事業主における建築物の増改築、解体などに当たっての環境配慮	18	18	100
小 計	32	56	57
合 計	536	682	79





サステン 創業からの100年

皆様に支持され、創業100年を迎えることができました これから先の新たな100年を信用、信頼を積み重ねるため

『人と人の絆を最も大切』にし、 『仲間と力を合わせて共にチャレンジ』 してまいります

我が社の【心のこもった商品】たちです





